

一般社団法人町田市介護サービスネットワーク
第13回 会員総会

議案資料

2017年6月26日（月）

（15：00～17：00）

グランハート町田 C棟2階 レンタルルームトマト

-議 案-

第1号議案 2016年度事業実績報告書（案）…1～14頁

第2号議案 2016年度決算報告書（案）…15～22頁

第3号議案 理事の変更について（案）…23頁

一般社団法人町田市介護サービスネットワーク

2016年度町田市介護人材開発センター事業実績報告書（案）

1 総括

2016年度は、町田市介護人材開発センター（以下、センター）事業が5年を過ぎ、各種連絡会等の関わりもさらに多くなった。また、町田市からの受託事業も多くなり、町田市の介護保険関係事業の要になれるように進めてきた。町田市からの期待も大いに感じ取り、センターとしての役割を認識しながら事業の実施に取り組んだ。

センターの認知度の向上を図るため、研修や連絡会、関係団体の情報等をホームページ、メールで提供し、フェイスブック等のSNSの活用、「まちカフェ」への参加を通して、市民及び関係者等への啓蒙・周知に取り組んだ。

会員事業所数も3月末時点で365事業所となり、昨年の同時期に比べ約30事業所増加となり、約65%から71%の入会率となった。

課題である財源の安定に向けては、既存の受託事業を増やすとともに新規の委託事業を受託し確実な実施に努めた。

（1）人材確保事業

- ① ハローワーク町田との共同面接会を継続し、雇用機会を維持する取り組みを実施した。年11回実施、134名の求職者が参加され25名が就労に至った。しかしながら、昨年度と比較すると参加者数は50名の減、就労者数も11名の減となった。ハローワーク担当者と少しでも参加者が多くなるように協力して取り組んだが、有効求人倍率が増加し、雇用情勢が上向きと言われる昨今はハローワーク全体でも来所者が少なくなっていると聞いている。介護分野に特化した定例の面接会は唯一であるため、今後も、ハローワークと連携して参加者を増やしていきたい。
- ② 町田市社協「福祉のしごと相談会」への協力、後援し、採用機会の確保に努めた。昨年度より約40名少ない84名の参加者数であった。
- ③ 学生向けの就活フェアを実施し、次世代を担う人材の確保に努めた。参加法人は13法人と例年と変わらず多かったが、参加した学生は16名と昨年とほぼ同数にとどまった。参加法人からは参加者数を増やすような取り組みへの要望があったが、学校からの情報では1名の学生に対して10法人の求人がある状況と、紹介事業所を利用する学生が多くなり、自分で就職先を探すことも少なくなったという。学生が直接、法人の職員と話ができる機会として有効性はあると考える。
- ④ 市民向け介護技術講習会を継続し、家族介護者の基礎介護技術習得、介護や認知症への理解を深めるとともに、介護等求職希望者への就職支援、現任職員への基礎介護技術の学び直しの機会となった。昨年度は雪のために1回中止となったが参加者数は14名増の70名となった。市民の参加も常に約半数あり、市民から一定の要望を得ている講習会である。
- ⑤ 学校での特別授業では専門学校と高校の2校で実施。専門学校では卒業生が講師として、高校では看護師、社会福祉士、介護福祉士（介護支援専門員）といった多職種の

講師を依頼し、現状と将来に向けて学生とディスカッションできたことで参加した学生からも将来に向けたイメージが持てたと好評であった。

- ⑥ 町田市内で開講する介護職員初任者研修の情報提供を年4回実施。これを見て受講した方もあった。
- ⑦ 町田市内養成校卒業生就職状況調査を実施。市内大学・専門学校など6校に依頼し、全学校の回答を得る。2015年度卒業生の合計は2,669名。全体で介護福祉施設に就職した学生は181名であった。そのうち、町田市内の介護福祉施設に就職した学生は27名で介護施設に就職した学生(181名)の14.9%であった。市内から通学している学生ばかりではないため、自宅近くで就職を希望する傾向や、福祉専門分野の学生だけの集計ではないことにより低い数字が出たと考える。介護職員不足を補っていくには、専門分野の学生にとらわれず、様々な分野で学んでいる学生に一人でも多く、興味を持ってもらえるような働きかけが必要である。
- ⑧ 介護職員初任者研修は、新規にスタートした他事業(アクティブシニア人材バンク事業)を優先し、実施を見送った。なお、初任者研修については他法人の行う市委託事業への事業協力として、情報提供等を行った。
- ⑨ 町田市介護保険事業所介護職員雇用動向基礎調査を実施。介護職員がいる対象事業所334事業所に対して118事業所から35.3%の回答であった。その中で、介護を担う職員では非正規職員の割合が高く、そのうち、訪問介護員では9割以上、介護職員では6割弱が非正規職員であった。訪問介護員、介護職員ともに慢性的な不足状況にある。訪問介護員では85%強、介護職員では67%強が不足状況にあると回答しており、慢性的な不足状況にあることが伺えた。
- ⑩ 町田市内外国人介護職員雇用促進検討会を設置し、検討会を年2回実施した。これからの介護職員を確保する上でも、外国人の雇用を視野に入れた活動を展開していくことが必要であるが、出身国による在住外国人同士のネットワークは強固であるため、町田市内の事業所が一丸となり、同じ方向性で活動を展開した方がより有効であることがわかった。
- ⑪ ケアラー公開講座～地域の担い手は市民が主役～年1回実施した。今年初めての講座として実際に家庭で介護をしている方をパネリストに迎えて開催したが、「ケアラー」という言葉が浸透していなかったこともあり、参加者数は13名にとどまった。この講座を通して、介護だけにとらわれず、自分の時間を作るなど経験者からの実体験を聴くことで、元気な介護者・市民を作り上げていくことができると考える。

(2) 人材育成事業

- ① 町田市介護保険課共催研修として「法令遵守研修」を各連絡会別に実施。合計で5回、延べ234名の参加を得た。昨年度は3回実施し、延べ267名の参加があり、約30名の減であった。「相談援助研修」では延べ153名の参加を得たが、昨年度よりも10名の減であった。他の研修でも言えることではあるが、職員の確保が難しく市内の研修でも参加が難しくなっていると考ええる。
- ② 町田市高齢者福祉課共催研修として「高齢者支援センター向け・虐待研修、権利擁護研修」を実施。延べ126名の参加。昨年より27名の増となった。これは権利擁護

事業の必要性や制度を理解していきたいと考える事業所が増加したことによると考える。また、難しいケースが増えてきているとも考えられる。

- ③「新任職員研修」には39名が参加。昨年度より8名減であった。新入職員の減少と日常業務での介護職員確保のために研修への参加が難しくなったと考えられる。
- ④「介護リーダー養成講座」では延べ60名の参加があり、昨年度より1名増となった。定員90名のところでは3割減の状況。研修に出しづらい現場の環境があることが原因の一因になっていると考える。
- ⑤「職員向け介護技術講習会」全3回実施。延べ31名の参加。昨年度より20名の減であった。定員20名で3日間の講習会であることから約50%の参加率にとどまった。
- ⑥「認知症研修」には26名が参加。昨年度より3名増となったが定員の半分の参加者数であった。年末の実施と認知症に関する研修機会の増加の影響も一因と考える。
- ⑦「リスクマネジメント研修」は2回実施し、延べ42名が参加。昨年度より7名増となった。定員30名の2日間であることから6割の参加率にとどまった。
- ⑧「介護職員向け医療的観察・報告の仕方」では2回延べ32名が参加。昨年度より1名増となった。今年度は日中の開催を控え、夜間で2回実施したが参加者数の増には繋がらなかった。訪問介護向けに実施したが訪問介護事業所からの参加は少なかった。
- ⑨「訪問介護計画書作成研修」は出張研修やサ責カフェ、町田市訪問介護事業者協議会主催の研修が複数回行われたため、それに置き替えて実施した。通常の研修より講師がより近くなり参加者には有意義な時間となり、理解が深まったと考える。
- ⑩「介護福祉士国家試験対策講座」筆記編は制度の改正もあり参加者は9名となった。昨年度は制度改正前とも重なり29名の参加があった。「実技編」は中止とした。
- ⑪出張研修は「マナー・接遇講座」「介護職員の記録の書き方」「訪問介護計画書の書き方」などメニューも増え115名の参加が得られた。
- ⑫「アクティブ福祉 in 町田」は10年目を迎え「町田市医療・介護・福祉研究発表大会」と名称も新たにし、発表題数も30題に増やして実施した。参加者数は437名と昨年度より約50名の減であった。学校と町田市からの参加者数は減ったが、各事業所からの参加者数は増えた。

(3) 就労継続支援事業

- ①「メンタルヘルス研修」は介護施設での職員のストレスチェック義務化に伴い、職員へのメンタルヘルス対策をテーマとした研修を実施した。参加者数は7名、昨年度より13名減となる。同じテーマで続けて実施したことが要因の一つと考えられるが、参加者の「ストレスチェック」の認知度は0で、誰も制度化されていたことを知らなかったことも主な要因と考えられる。
- ②「職場の人間関係の在り方～交流分析を通して」は、数年ぶりに実施したところ、定員20名のところ21名の参加が得られた。
- ③「就労継続支援事業」は、新規にスタートした他事業（アクティブシニア人材バンク事業）を優先し、実施を見送った。
- ④「介護カフェ」は介護職員の定着支援としてスタートした。参加者の自主的な活動を事務局で支援し、参加者自らが研修を企画・運営しながら研鑽した。
- ⑤「サ責カフェ」は当法人代表理事が主体となり「町田市推奨版 訪問介護計画書」の

書き方の勉強会を継続して実施した。一般研修などとは違い、参加者は、有識者から様々な現場の方まで広く参加され、各々の立場や思いを伝えながら記録の書き方の確認、勉強を実施した。

(4) アクティブシニア介護人材バンク事業

2016年10月にアクティブシニアの介護予防や生きがいづくりと、多様な担い手の創出による介護従事者の負担軽減と人材確保の両方を目的に、新規事業として開始した。

- ① 初年度の事業立ち上げとして、有料職業紹介の認可取得、事業所や初度設備等の環境整備、事業周知、アクティブシニア介護人材バンク事業を活用した雇用に関するヒアリング（町田市高齢者福祉施設部会会員の13人17施設）を行った。
- ② 研修・就労相談事業では、介護の仕事を支える基礎知識を学ぶ「初級研修」（5回、参加者数180名）、施設見学・事業所説明会（12施設・説明会のみ参加5施設、参加者数177名）を実施した。
- ③ アクティブシニア介護人材バンク事業では、1月に職業紹介事業の許可を得て、アクティブシニア介護人材バンクを開設し、2月より求人・求職登録の受付、マッチング、紹介を開始した。
- ④ 就労支援事業では、就労後の訪問（電話）面接を行うとともに、初級研修修了者に対して、研修終了後の状況調査（はがきによる回答）を実施した。
- ⑤ 施設見学・事業所説明会、アクティブシニア介護人材バンクでの紹介により、29名が就職に至った。
- ⑥ アクティブシニア通信第1～3号の発行、パンフレット・ホームページの作成を通じて、情報提供を行った。

(5) 受託事業

①町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクト事務局事務委託事業

定例協議会 年4回、研修会 年2回、介護検討部会 年2回を事務局事務として町田市担当部署の高齢者福祉課と連携した。協議会開催に係る連絡調整、事務等、協議会に関する啓蒙活動（ホームページ、フェイスブック等）などを実施

②要介護認定調査事業

年間件数：823件受託

③要介護認定関係研修事業

- ・新規研修 年4回 新任調査員を対象とした研修を町田市役所にて実施。
- ・出張研修 年4回 模擬審査会をテーマに実施、圏域別に4回実施。
- ・内部研修 年6回 町田市調査員、事務受託法人の認定調査員向けの研修を町田市役所にて実施
- ・現任研修 年1回 町田市内の全受託法人の認定調査員向け研修を健康福祉会館で実施。

④総合支援事業研修「訪問型サービスA従事者研修」

年1回20時間コース（1日5時間を4日間）の研修を実施した。定員60名に対し90名の応募があり、抽選の結果64名が受講し、62名が修了した。「まちいきヘルパー」として37名が就労に至った。

(6) ネットワーク促進事業

- ① 町田市高齢者福祉施設部会、生活相談員連絡会では、事務局として、特養の特例入所指針作成や入所申込書の改訂、医療処置対応一覧作成等に取り組んだ。
- ② 町田市通所事業所連絡会では、事務局として、連絡会活動の支援や事業所プロフィールシートの取りまとめ、各部会の調整や部会実施に取り組んだ。
- ③ 町田市福祉用具事業所連絡会では、研修やケアマネジャーとの連携などに事務局として支援を行った。連絡会としてアクティブ福祉 in 町田や多職種連携研修会などに参加し、福祉用具の展示や住宅改修研修会での貸し出しに協力した。
- ④ 町田市訪問看護ステーション連絡会では、連絡会主催の研修等を事務局として支援した。また、情報誌などの取りまとめも実施した。
- ⑤ 町田市特定施設事業所連絡会では、事務局として、立ち上げから支援を行った。連絡会設立後は、研修活動や機関誌、名刺・ロゴマークの作成の支援を行った。
- ⑥ 町田市訪問マッサージ連絡会は立ち上げ、連絡会活動の支援を行った。
- ⑦ 町田市や町田市社会福祉協議会等の外部委員会への推薦委員派遣を通して、行政等への提案や地域の高齢者福祉サービスの向上に取り組んだ。
- ⑧ 会員交流会を開催し、顔の見える関係づくり、情報交換を行った。

2 各事業実績

各事業の内容は、参加者数等は、別紙「2016 年度町田市介護人材開発センター事業報告・参加者数」をご参照ください。

(1) 人材確保事業

No.	種別	事業名・概要
01	面接会	介護・福祉ミニ面接会 (ハローワーク町田・相模原・八王子との共催) 全 11 回実施
02	面接会	地域密着型就職面接会・福祉のしごと相談面接会(協力) 町田市社会福祉協議会、東京都福祉人材センター主催 年 1 回実施
03	相談・面接会	学生向け就職説明会「福祉のしごと就職フェア in 町田」 年 1 回実施
04	講習会	市民向け基礎介護技術講習会(家族介護、就労希望者向け) 年 3 回実施 清風園、いづみの里 桜実会 協力: 東京都介護福祉士会町田ブロック会
05	広報・啓発	学校での特別授業 2 校で実施 町田福祉保育専門学校、野津田高等学校
06	情報提供	町田市内における介護職員初任者研修開催状況の情報提供 年 4 回更新
07	統計調査	町田市内養成校卒業生就職状況調査 年 1 回実施
08	講習会	介護職員初任者研修 未実施 新規にスタートした他事業(アクティブシニア人材バンク事業)を優先し、実施を見送った。

09	統計調査	町田市介護保険事業所介護職員雇用動向基礎調査 年 1 回実施
10	調査検討	町田市内外国人介護職員雇用促進検討会の設置 年 2 回実施
11	講習会	ケアラー公開講座～地域の担い手は市民が主役～ 年 1 回実施

※就職相談・面接会、講習会では、就労相談を行う。

(2) 人材育成事業

No.	種別	事業名・概要
12	法令遵守 中堅・上級層	法令遵守・運営基準・法改正研修 介護保険課共催 年 5 回 (2H/回) 実施 ①居宅介護支援事業所 ②訪問介護事業所 ③通所事業所 ④福祉用具事業所 ⑤訪問看護ステーション (中止) ⑥特定施設事業所 (追加)
13	相談援助 中堅	相談援助研修 介護保険課共催 (主任ケアマネ推薦要件研修) ソーシャルワークの基礎 年 6 回 (1 コース 3 講座×2 回) 実施
14	支援センター 中堅・上級層	高齢者支援センター職員研修① 高齢者福祉課共催 高齢者虐待への対応について 年 1 回実施
15	支援センター 新任・中堅・上級層	高齢者支援センター職員研修② 高齢者福祉課共催 権利擁護事業について 年 1 回実施
16	基礎知識・技術 新任層	新任職員研修 年 1 回 (6H) 実施 対人援助職として必要な基礎的な知識、技術の習得と学び直しを図る。 ①社会人としてのマナー・接遇、職場でのコミュニケーション ②認知症の理解 ③法令遵守、リスクマネジメント
17	リーダー育成 中堅層	介護リーダー養成講座 介護過程の理解と職場での展開、記録の書き方、リーダーシップ、 自主・グループ研究の発表 講義 3 回、グループ研究 2 回、アクティブ発表
18	介護技術	職員向け介護技術講習会 年 3 回実施

	中堅層	持ち上げない介護、機器を活用したこれからの介護技術等
19	認知症 新任層 ・中堅	認知症研修 年1回（3H）実施 事例検討～認知症の疑いから受診まで
20	リスクマネジ メント・中 堅・上級 層	リスクマネジメント研修 年2回実施 リスク回避、苦情対応等
21	多職種 連携 中堅層	ファシリテーター養成研修「担当者会議の開き方」 全3回（2.5H／回）実施 サービス担当者会議の準備、開き方等
22	多職種 連携 新任層	介護職員向け医療的観察・報告の仕方 年2回（2H／回）実施 利用者の様態変化の観察視点と報告の仕方、脱水防止、感染症予防、終末期への関わりについて等
23	訪問介 護 中堅層	訪問介護計画書作成研修 法令に基づく訪問介護計画書の作成について 町田市推奨版「訪問介護計画書」ができ、出張研修・町田市訪問介護事業者協議会などの研修や「サ責カフェ」にて勉強会を実施したため。
24	継続 資格取 得 新任層	介護福祉士国家試験受験対策直前講座 筆記編：年1回実施 実技編・中止：今年度より実技試験がなくなったため中止した。
25	継続 講師派 遣	出張訪問研修 会員事業所の希望に沿った内容で、5施設で実施 ・内容：（1）接遇・マナー （2）介護職員の記録の書き方 （3）訪問介護計画書の書き方
26	継続 共通 研究発 表	第10回町田市医療・介護・福祉研究大会「アクティブ福祉 in 町田'16」 10回記念大会 年1回実施 福祉・介護をテーマとした実践研究発表、講演会、 福祉用具等の展示他

（3）就労継続支援事業

No	種別	事業名・概要
27	メンタルヘルス 中堅・上 級層	メンタルヘルス研修 年1回実施 職場（部下）の精神衛生とモチベーションアップ等
28	自己啓 発 メンタルヘルス	職場の人間関係の在り方～交流分析を通して 年1回実施 自己と他者との心理的交流傾向を知ることによって良好な人間関係を築く

29	相談	就業継続支援事業 中止 新規にスタートした他事業（アクティブシニア人材バンク事業）を優先し、実施を見送った。
30	相互啓発	介護カフェ 年 12 回実施 ピュアな関係を通して自己を見つめ、情報交換等を通して制度や実践力を高め合う。
31	相互啓発	サ責カフェ 年 11 回実施 ピュアな関係を通して自己を見つめ、情報交換等を通して制度や実践力を高め合う。「町田市推奨版、訪問介護計画書の書き方」勉強会

（４）アクティブシニア介護人材バンク事業

No	種別	事業名・概要
—	研修	初級研修 全 5 回 参加者 180 人
—	説明会	施設見学・事業所説明会 全 12 回 参加事業所 20 箇所 参加者 148 人 就職者数 24 人
—	人材バンク	アクティブシニア介護人材バンク 年度末登録者 25 人、就職者数 5 人

（５）委託事業

	種別	事業名・概要
32	委託	町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクト事務局事務委託事業 定例協議会 年 4 回、臨時の定例会 年 2 回以内 研修会 年 2 回 介護検討部会 年 4 回 ・協議会開催に係る連絡調整、事務等 ・協議会に関する啓蒙活動 ・研修会の企画立案及び運営
33	委託	要介護認定調査事業 ・件数：823 件
34	委託	要介護認定関係研修 ・新規研修 年 4 回、延べ 50 名参加 ・出張研修 年 4 回、テーマ「認定調査の基本的な考え方」「模擬審査会～伝わる特記事項の書き方～」(第 2 清風園、まちだ正吉苑、コモンズ、町田誠心園) 延べ 58 名参加 ・内部研修 年 6 回 延べ 130 名参加 ・現任研修 年 1 回 テーマ「認定調査、質問の仕方とポイントをつかんだ書き方」延べ 222 名参加 町田市の委託内容に沿ったものを実施
35	委託	総合支援事業研修「訪問型サービス A 従事者研修」 年 1 回 20 時間コース（1 日 5 時間を 4 日間） ・応募 90 名、受講 64 名、修了証授与 62 名、37 名の就労先が決まる。

(6) ネットワーク促進事業

No	種別	事業名・概要
36	法人会議	会員総会 ・回数：年 2 回 ・時期：6 月（定時総会）、3 月 ・内容：定款第 14 条に定められた事項他
37	法人会議	理事会 回数：年 5 回 内容：当法人の業務執行の決定、理事の職務の執行の監督等を行う。業務執行に必要と認めた場合、委員会（法人検討委員会）を設置した。
38	委員会	運営委員会 ・回数：年 2 回 ・時期：5 月、2 月 ※定款第 36 条により、会長の諮問に応じて助言を行い、又は事業計画の実施のために意見を述べる委員会であり、運営委員は、連携諸団体の推薦を受けた者を理事会の推薦により会長が委嘱する。
39	委員会	法人運営検討委員会 回数：年 3 回 内容：今後の当センターあり方についての会議を実施
40	委員会	ネットワークサポート委員会 ・回数：会議 年 4 回（アクティブ実行委員会含む）アクティブ当日 ※会員施設から推薦されたセンター事業をサポートするリーダー職員で構成。
41	連絡会	町田市高齢者福祉施設部会 ・回数：年 5 回 - 時期：5 月、7 月、9 月、11 月（交流会）、2 月
42	連絡会	町田市高齢者福祉施設部会 生活相談員連絡会 ・回数：年 3 回
43	連絡会	町田市通所事業所連絡会 ・回数：総会 年 1 回 役員会 年 12 回、ブロック会 年 2 回、認知症デイサービス部会 年 2 回、小規模通所部会 年 2 回 通所リハビリ部会 年 2 回 ・内容：連絡会の事業計画に沿った活動を行う。
44	連絡会	町田市福祉用具事業所連絡会 ・回数：総会 年 1 回 役員会 年 8 回以上 全体会 年 7 回 ・内容：連絡会の事業計画に沿った活動を行う。
45	連絡会	町田市訪問看護ステーション事業所連絡会 ・回数：総会 年 1 回、全体会 年 5 回、研修 4 回 ・内容：連絡会の事業計画に沿った活動を行う。
46	連絡会	町田市特定施設事業所連絡会 ・回数：総会 年 1 回 役員会 年 12 回 全体会 年 3 回 ・内容：連絡会の事業計画に沿った活動を行う。
47	連絡会	町田市訪問マッサージ連絡会（アドバイザーとして参加） ・回数 設立総会・役員会 5 回・連絡会 4 回交流会 4 回・意見交換会 1 回 実

		施。
48	新規 企画	多職種連携研修会の企画 変更・未実施 今年度は要望がなく実施がなかった。
49	交流会	大会交流会「ベストウェスタンレンブラントホテル東京町田」にて実施。 ・年1回11月9日（アクティブ福祉 in 町田当日）136名参加
50	TV 会議シ ステムの活 用	・町プロでの TV 中継、コンソーシアム研修会（南多摩保健所、町田市民病院）など、さまざまな機会に TV 中継を実施した。

【会員組織】

- ・町田市高齢者福祉施設部会－生活相談員連絡会
- ・町田市通所事業所連絡会
- ・町田市福祉用具事業所連絡会
- ・町田市訪問看護ステーション連絡会
- ・町田市特定施設事業所連絡会

【運営委員会・委員推薦団体】

- ・町田市高齢者福祉施設部会
- ・町田市介護老人保健施設
- ・町田市ケアマネジャー連絡会
- ・町田市訪問介護事業者協議会
- ・町田市グループホーム連絡会
- ・町田市訪問看護ステーション連絡会
- ・町田市社会福祉協議会
- ・町田社会福祉士会
- ・東京都介護福祉士会町田ブロック会
- ・町田市福祉用具事業者連絡会
- ・町田市特定施設事業所連絡会
- ・町田市訪問マッサージ連絡会

【推薦委員を派遣している外部委員会】

No.	町田市外部委員会名
1	町田市高齢社会総合計画審議会
2	町田市地域密着型サービス運営委員会
3	町田市高齢者支援センター運営協議会
4	町田市保健所運営協議会準備会
5	町田市介護保険苦情相談調整会議・介護苦情解決専門員
6	町田市高齢者虐待防止連絡協議会
7	町田市老人ホーム入所判定委員会
8	町田市中学生職場体験推進協議会
9	町田市男女平等参画協議会
10	町田市地域福祉計画監理委員会
11	町田市社会福祉協議会評議員
12	町田市社会福祉協議会ボランティアセンター運営委員会
13	町田市社会福祉協議会共同募金配分推薦委員会
14	町田市社会福祉協議会地域福祉活動計画推進委員
15	高齢者福祉サービス利用の知的障がい者の支援を進める委員会

[illegible]

2016年度町田市介護人材開発センター事業報告・参加者数

2017.3.31現在

事業種別			内容(対象・回数・時間・定員・会場)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度実績	
人材 育 成 事 業	分野・領域別	基礎知識・技術	16 新任職員研修 年1回 9:30～16:30 定員:50名 町田商工会議所 富田静江氏、大貫祐子氏、是枝祥子氏(法人代表理事、大妻女子大学名誉教授)	4/18 39													39	47	
		リーダー育成	17 介護リーダー養成講座 全4回 10:00～17:00 定員:30名 町田市民フォーラム 是枝祥子氏(法人代表理事、大妻女子大学名誉教授)		5/17 15		7/19 15		9/20 15		11/9 15						60	59	
		介護技術	18 職員向け介護技術講習会 全3回 18:30～21:00 定員:20名 芙蓉園 貝塚誠一郎氏(貝塚ケアサービス研究所代表)			6/8 10	7/7 11	8/22 10									31	51	
		認知症	19 事例検討「認知症の疑いから受診まで」 年1回 18:00～21:00 定員:50名 町田商工会議所 本間昭氏(お多福もの忘れクリニック 管理医師)									12/12 26					26	23	
	分野・領域別	リスクマネジメント	20 リスクマネジメント研修 全2回 13:30～17:30 定員:30名 町田市民フォーラム 貝塚誠一郎氏						8/31 22	9/27 20								42	35
		多職種連携	21 ファシリテーター養成研修 全3回 14:00～16:30 定員:20名 町田市民フォーラム 小峰良子氏(介護福祉士会理事)		5/23 17	6/22 16	7/12 17											50	71
			22 介護職員向け医療的観察・報告の仕方 1回 18:30～20:30 定員:30名 社会福祉法人竹清会 2回 18:30～20:30 定員:30名 社会福祉法人芙蓉会 藤田明恵氏(訪問看護ステーションまちきた所長)											2/14 16	3/14 16		32	31	
		訪問介護	23 訪問介護計画書作成研修(→出張研修へ振替) 年1回 18:30～20:30 定員:20名 町田市民フォーラム 是枝祥子氏(法人代表理事、大妻女子大学名誉教授)														—	47	
		資格取得	24-1 介護福祉士国家試験直前講座 筆記編 年1回 13:30～17:30 定員:20名 町田市民フォーラム 是枝祥子氏(法人代表理事、大妻女子大学名誉教授)、上静子氏(東京都介護福祉士会町田ブロック会会員)									11/19 9						9	29
			24-2 介護福祉士国家試験直前講座 実技編(→実技試験中止) 年1回 14:00～16:30 定員:20名 芙蓉園 東京都介護福祉士会町田ブロック会会員															—	21
	講師派遣		25 出張訪問研修	4/5 17	5/20・26 22・22				8/6 8							2/21 13	2/24・29 6・27	115	0
	アクティブ福祉in町田'15		26 アクティブ福祉in町田'16 年1回 11:00～18:00 町田市文化交流センター 研究発表大会、介護用品・福祉用具展示PRコーナー										11/9 437					437	478

2016年度町田市介護人材開発センター事業報告・参加者数

2017.3.31現在

事業種別			内容(対象・回数・時間・定員・会場)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度実績
就労継続支援事業	分野・領域別	メンタルヘルス	27	メンタルヘルス研修 年1回 18:30～20:30 定員:20名 町田市民ノオーフム 植田健太氏(臨床心理士・社会保険労務士事務所Office CPSR代表)			6/27 7										7	20
		自己啓発	28	職場の人間関係の在り方～交流分析を通して 年1回 18:30～20:30 定員:20名 グランハート町田 佐藤ちよみ氏(対人援助スキルアップ研究所 所長)										2/2 21			21	—
		相談	29	就業継続支援事業														—
		相互啓発	30	介護カフェ	4/15 4	5/13 9	6/10 4	7/8 4	8/26 11	9/23 6	10/14 5	11/18 8	12/9 5	1/13 5	2/10 10	3/10 5	76	—
			31	サ責任カフェ	4/20 9	5/18 13	6/15 14	7/20 10	8/24 11	9/21 15	10/19 15	11/16 11	中止 5	1/18 8	2/15 8	3/15 6	117	—
アクティブシニア介護人材バンク事業	初級研修	—	第1回 10:30～16:00 定員:100名 町田市文化交流センター 第2回 10:30～16:00 定員: 45名 成瀬コミュニティセンター 第3回 10:30～16:00 定員: 45名 鶴川市民センター 第4回 10:30～16:00 定員: 45名 小山市民センター 第5回 10:30～16:00 定員: 40名 町田市文化交流センター								11/29	12/1・3・10			3/10		—	
	事業所見学及び事業所説明会	—	第1回 10:00～12:00 清風園(福音会) 第2回 9:30～11:00 いづみの里(コモنز) 第3回 14:30～16:30 椿(杏林荘) 第4回 10:00～12:00 美郷・花美郷 第5回 13:30～15:30 悠々園 第6回 10:00～12:00 かりん町田(友愛荘) 第7回 13:30～15:30 福音会 第8回 10:00～12:00 まちだ正吉苑(高ヶ坂ひかり苑、ハピネスセリがや) 第9回 10:00～12:00 コモンズ(ハピネスセリがや) 第10回 13:30～15:30 みぎわホーム 第11回 14:00～16:00 ぬくもりの園 第12回 14:00～15:30 レガメ町田									12/12・14・14・16・19 84	1/10・11・15・17・18 64		3/22・24 29	177	—	

※アクティブ福祉in町田のみ参加者総数、その他は参加実人数です。

2308

1880

2016年度 収支計算書(案)(総括表)
 自:2016年4月1日 至:2017年3月31日

一般社団法人町田市介護サービスネットワーク

《収入の部》

大区分	中区分	決算額	予算額	差額	備考
町田市補助金収入		20,000,000	20,000,000	0	
センター事業収入	参加費収入	1,816,500	3,092,500	△ 1,276,000	就活フェア、研修などの参加費(資料代含む)
	広告料収入	155,000	400,000	△ 245,000	アクティブ福祉in町田 当日冊子への掲載
法人収入	正会員会費収入	3,216,700	2,822,000	394,700	
	賛助会員会費収入	5,000	10,000	△ 5,000	
	受託収入(町田市)	2,600,000	2,600,000	0	町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクト推進協議会事務局事務
		6,447,600	5,670,000	777,600	要介護認定調査業務 @8,100×796件
		1,387,500	1,387,608	△ 108	町田市要介護認定調査員現任研修事務局事務
		1,961,150	1,961,150	0	訪問型サービスAの従事者養成研修業務
	その他事業収入	115,000	150,000	△ 35,000	TV会議システム貸出収入、冊子販売収入
	交流会参加費収入	1,191,000	500,000	691,000	大会交流会、多職種連携研修懇親会
	受取利息収入	634	0	634	受取利息
	雑収入	76,535	0	76,535	資料代他
収入計①		38,972,619	38,593,258	379,361	

《支出の部》

大区分	中区分	決算額	予算額	差額	備考
管理費支出		131,135	120,000	11,135	役員報酬等
事業費支出		35,031,656	38,399,386	△ 3,367,730	
	人材確保事業費	1,640,735	2,435,041	△ 794,306	就活フェア、介護技術講習会
	人材育成事業費	10,423,783	12,210,902	△ 1,787,119	研修、アクティブ福祉in町田15
	就労継続支援事業費	329,507	503,030	△ 173,523	メンタルヘルス研修
	アクティブシニア人材バンク事業	8,758,347	10,000,000	△ 1,241,653	総事業費には投資活動支出(設備造作・什器備品)を含む
	ネットワーク促進事業費	3,393,394	1,631,655	1,761,739	ネットワーク促進活動費等(会員交流会含む)
	受託事業費	10,485,890	11,618,758	△ 1,132,868	町田市受託業務
支出計②		35,162,791	38,519,386	△ 3,356,595	
予備費③		0	73,872	△ 73,872	
投資活動支出④		1,998,459	0	1,998,459	
	設備造作	216,561	0	216,561	(内訳)AS介護人材バンク:216,561円
	什器備品	1,437,098	0	1,437,098	(内訳)AS介護人材バンク:1,045,598円、ネットワーク促進:391,500円
	敷金支出	344,800	0	344,800	事務所(山崎)敷金
当期収支差額 ①-(②+③+④)		1,811,369	0	1,811,369	
前期繰越金		2,995,591		2,995,591	
次期繰越金		4,806,960		4,806,960	

※参考(事務局経費)

	決算額	予算額	差額	備考
人件費	17,588,228	22,832,000	△ 5,243,772	常勤4名、非常勤11名
経費	8,876,356	5,500,000	3,376,356	
合計	26,464,584	28,332,000	△ 1,867,416	

決 算 報 告 書

(第 5 期)

自 平成 28 年 4 月 1 日
至 平成 29 年 3 月 31 日

一般社団法人町田市介護サービ'スネットワーク

正味財産増減計算書

平成28年 4月 1日から平成29年 3月31日（決算）まで

法人名：一般社団法人町田市介護サービスネットワーク

事業名：事業全体

（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
経常増減の部			
経常収益			
会費収入	3,221,700	2,910,250	311,450
正会員受取会費	3,216,700	2,891,250	325,450
賛助会員受取会費	5,000	19,000	△14,000
事業収入	15,673,750	8,681,717	6,992,033
参加費収益	3,007,500	3,208,000	△200,500
広告費収益	155,000	390,000	△235,000
町田市受託収益	12,396,250	4,993,717	7,402,533
その他の事業収益	115,000	90,000	25,000
受取補助金等	20,000,000	9,000,000	11,000,000
受取地方公共団体補助金	20,000,000	9,000,000	11,000,000
受取寄付金	0	255,000	△255,000
受取寄付金		255,000	△255,000
雑収益	77,169	42,681	34,488
受取利息	634	1,319	△685
雑収益	76,535	41,362	35,173
経常収益計	38,972,619	20,889,648	18,082,971
事業費用			
事業費	32,594,608	18,360,931	14,233,677
給料手当	17,531,435	9,627,711	7,903,724
通勤手当	604,901	322,018	282,883
福利厚生費	67,018	46,336	20,682
旅費	52,831	7,364	45,467
通信費	969,967	769,923	200,044
消耗品費	1,837,204	241,248	1,595,956
広告宣伝費	742,781		742,781
印刷製本費	1,314,665	1,246,911	67,754
保険料	8,680		8,680
光熱水料	193,869	63,411	130,458
賃借料	3,250,228	2,027,088	1,223,140
会場借上費	501,436	305,130	196,306
諸租税公課	1,189,858	858,502	331,356
法定福利費	144,150		144,150
法定福利費	2,083,874	1,226,698	857,176
車両費	294,339	113,568	180,771
委託費	759,858	120,000	639,858
雑費	1,047,514	1,385,023	△337,509
管理費	3,162,931	1,556,323	1,606,608
役員報酬	131,135	360,000	△228,865
会議交通費	44,862	46,576	△1,714
旅費	64,604	68,740	△4,136
通信費	367,162	270,063	97,099
減価償却費	950,948	171,580	779,368
消耗品費	390	100,725	△100,335
賃借料	311,260	118,440	192,820
会場借上費	38,300	1,800	36,500
会租税公課	44,200	13,450	30,750
寄附金	10,000		10,000
雑費	1,200,070	404,949	795,121
経常費用計	35,757,539	19,917,254	15,840,285
評価損益等調整前当期経常増減額	3,215,080	972,394	2,242,686
評価損益等計	0	0	0

正味財産増減計算書

平成28年 4月 1日から平成29年 3月31日（決算）まで

法人名：一般社団法人町田市介護サービスネットワーク

事業名：事業全体

（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
当期経常増減額	3,215,080	972,394	2,242,686
経常外増減の部			
経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	3,215,080	972,394	2,242,686
法人税、住民税及び事業税	356,200	70,000	286,200
当期一般正味財産増減額	2,858,880	902,394	1,956,486
一般正味財産期首残高	3,401,242	2,498,848	902,394
一般正味財産期末残高	6,260,122	3,401,242	2,858,880
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高	6,260,122	3,401,242	2,858,880

貸 借 対 照 表

平成 29 年 3 月 31 日現在 (決算)

法人名：一般社団法人町田市介護サービスネットワーク

事業名：事業全体

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資 産 の 部			
流 動 資 産			
現 金 預 金	5,075,875	2,811,824	2,264,051
現 普 通 預 金	47,379	126,437	△79,058
未 収 金	5,028,496	2,685,387	2,343,109
前 払 金	1,702,150	940,400	761,750
流 動 資 産 合 計	248,678	20,906	227,772
固 定 資 産	7,026,703	3,773,130	3,253,573
そ の 他 固 定 資 産			
設 備 造 作	186,424		186,424
什 器 備 品	611,938	95,651	516,287
敷 保 証 金	644,800	300,000	344,800
保 証 金	10,000	10,000	
そ の 他 固 定 資 産 合 計	1,453,162	405,651	1,047,511
固 定 資 産 合 計	1,453,162	405,651	1,047,511
資 産 合 計	8,479,865	4,178,781	4,301,084
II 負 債 の 部			
流 動 負 債			
未 払 金	954,797	156,270	798,527
前 受 金	821,700	469,500	352,200
預 り 金	87,046	81,769	5,277
未 払 法 人 税 等	356,200	70,000	286,200
流 動 負 債 合 計	2,219,743	777,539	1,442,204
負 債 合 計	2,219,743	777,539	1,442,204
III 正 味 財 産 の 部			
一 般 正 味 財 産	6,260,122	3,401,242	2,858,880
正 味 財 産 合 計	6,260,122	3,401,242	2,858,880
負 債 及 び 正 味 財 産 合 計	8,479,865	4,178,781	4,301,084

財 産 目 録

平成 29 年 3 月 31 日現在 (決算)

法人名：一般社団法人町田市介護サービスネットワーク

事業名：事業全体

(単位： 円)

貸 借 対 照 表 科 目	場 所 ・ 物 量 等	使 用 目 的 等	金 額
(流 動 資 産)			
現 普 通 預 金	手元保管	運転資金として	47,379
	ゆうちょ銀行	運転資金として	3,330,096
	八千代銀行	運転資金として	1,698,400
未 収 金	受託費	町田市 認定調査2. 3月分他	1,702,150
前 払 金	4月分家賃 郵送代	会場借上げ前払分	248,678
立 替 金	会費	研修懇親会費の立替	
流 動 資 産 合 計			7,026,703
(固 定 資 産)			
そ の 他 固 定 資 産			
設 備 造 作 品	パーティション	人材バンクで使用	186,424
什 器 備	システムサーバー他	管理業務で使用している	611,938
敷 保 証 金	原町田3-14-1. 山崎	事務所	644,800
	新宿屋ビル(株)	駐車場リモートコントロール保証金	10,000
固 定 資 産 合 計			1,453,162
資 産 合 計			8,479,865
(流 動 負 債)			
未 払 金	パソコン他	3月分経費の未払分	954,797
前 受 金	次年度会費収入	ネットワーク促進事業の会費	821,700
預 り 金	源泉所得税預金	源泉所得税、社会保険料納付分	87,046
未 払 法 人 税 等	法人税都民税市民税	町田税務署, 町田市役所、県税事務	356,200
流 動 負 債 合 計			2,219,743
負 債 合 計			2,219,743
正 味 財 産			6,260,122

財務諸表に対する注記

法人名：一般社団法人町田市介護サービスネットワーク

事業名：事業全体

1. 重要な会計方針

(1) 会計方針

「公益法人会計基準」（平成20年12月1日 内閣府公益認定等委員会）を採用している。

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 定率法（ただし、建物附属設備は定額法）を採用しています。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	1,769,682	1,157,744	611,938
建物附属設備	216,561	30,137	186,424
合 計	1,986,243	1,187,881	798,362

2016年度監査報告書

2017年 5月 15日

一般社団法人町田市介護サービスネットワーク
代表理事 是枝 祥子 殿

監事

谷 和 久 

監事

諫 山 英 一 

1. 監査の実施概要

定款第25条に基づき、一般社団法人町田市介護サービスネットワークの2016年度（監査対象期間、2016年4月1日～2017年3月31日）の会計の状況について監査を行いました。

監査日時 2017年 5月 15日 16:30～18:00

監査場所 グランハート町田 レンタルルームトマト

2. 監査意見

収支決算書、貸借対照表、及び関係書類について監査した結果、その内容は適正であると認めます。

以上の通り報告致します。

第4号議案 理事の変更について

1. 堀場淳理事の辞任に伴う新理事の承認

新理事： 奥山 孝（おくやま たかし）
町田市いきいき生活部長

<議案説明>

- (1) 堀場淳理事が、2017年4月1日をもって町田市いきいき生活部長から町田市財務部長に就任されました。町田市役所職員の理事就任は、町田市の外郭団体としての要件にあたります。後任理事候補として、町田市いきいき生活部長に就任された奥山孝部長のご推薦を頂きました。理事の承認は、会員総会の決議事項にあたります。
- (2) 任期：2017年6月26日～2018年6月会員総会までの残任期間